

できることから、あなたもゼロカーボンにチャレンジ!

☑ みんなでチェックして、チャレンジしてみよう

住

- 太陽光発電を設置
電気代が年間約53,000円お得、災害時にも使える^{※1}
- 省エネ家電への買い替え(エアコン・冷蔵庫、HEMS)
電気代が年間約28,000円お得^{※1}
※HEMSとは、家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム
- 省エネ住宅への引っ越しや断熱リフォーム
光熱費が年間約94,000円お得、寒暖差が少なくヒートショック防止も^{※1}
- 電球のLED化
電気代が年間約3,360円お得(54Wの白熱電球から9Wの電球形LEDランプに交換した場合)^{※2}



できること、あるある!

交通

- マイカーを次世代自動車に買い替え
維持費が年間約75,000円お得、災害時の電源としても活用可能^{※1}
- テレワークの実施
通勤目的の移動をゼロに
- エコドライブの実践
ふ〜んわりアクセル ガソリン代が年間約13,814円お得(発進から5秒で時速20kmの加速を意識した場合)^{※2}



衣

- ウォームビズ
部屋着にも工夫をして体温を上げよう。カーディガンで+2.2℃、ひざかけで+2.5℃^{※2}



食

- 地元の食品や旬の食材を食べよう
新鮮で安心な食材で健康的な食生活をしながら地域にも貢献。輸送で出るCO₂が少なく環境にも優しい



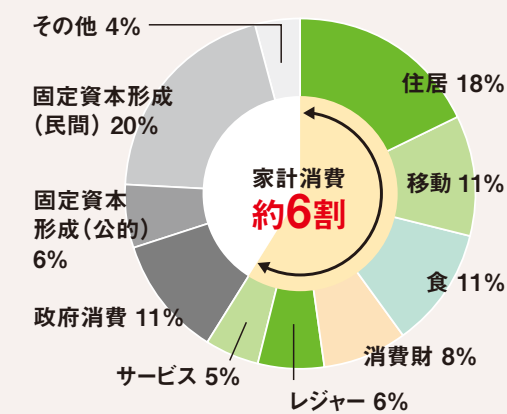
ごみ

- プラスチックごみの削減、マイボトルを持ち歩こう
プラスチック生産時に出るCO₂を削減



出典:※1 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動(環境省) ※2 おうちで省エネ(北海道経済産業局)

図1 消費ベースでの日本のライフサイクル温室効果ガス排出量



資料:南青規介(2019)産業連関表による環境負荷原単位データブック(3EID)(国立環境研究所), Nansai et al.(2020) Resources, Conservation & Recycling 152-104525, 総務省(2015)平成27年産業連関表に基づき国立環境研究所および地球環境戦略研究機関(IGES)にて推計

2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロに!
(ゼロカーボン北海道の達成イメージ)



脱炭素化と経済活性化を同時に推進!

NEWS G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合を4月に開催!

ことし5月開催のG7広島サミットに係る関係閣僚会合として「G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合」が4月15日(土)、16日(日)の2日間、札幌市で開催されます。フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダ、EUに加え、招待国・機関が参加する予定です。

気候・エネルギー・環境大臣会合とは?

G7サミットに関する14の閣僚会合の一つ。気候やエネルギー、環境に関する課題に対して、G7が団結・協力して取り組む事項などをまとめた合意文書の発出を目指します。

脱炭素先行地域の一つ、鹿追町のバイオガスプラント [取り組みは3ページをご覧ください]



北海道の再生可能エネルギーとCO₂削減目標

再生エネのポテンシャルが全国随一

- 風力発電 全国1位
- 太陽光発電 全国1位
- 中小水力発電 全国1位
- 地熱発電 全国2位

中期目標(2030年度) 2013年度比 (万トン-CO₂)

2013 (基準年度)	排出量 (7,369)
2030 (中期目標)	排出量 (3,788) ← 48%削減

北海道の再生可能エネルギーのポテンシャルの高さは全国随一。北海道は豊かな自然や地域資源により、太陽光発電や風力発電、中小水力発電の導入ポテンシャルが全国1位となるなど、全国随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを有しています。

道ではこうした再生可能エネルギーと広大な森林などの吸収源を最大限活用し、温室効果ガスの排出量を2030年度までに2013年度比48%削減、2050年に実質ゼロとし、環境保全の取り組みと経済の成長・発展を同時に進め、「ゼロカーボン

近年、地球温暖化による気温の上昇や集中豪雨の発生など、気候変動の影響が大きくなっています。気候変動は、農業・漁業への被害や大雨などの災害を引き起こし、仮に現状のままでも何らかの対策をしなければ、将来の北海道の気温は42℃を超えるという予測もあります。気候変動を食い止めるには、その原因となる二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスを減らすことが重要です。

特集に関する問い合わせ/道庁ゼロカーボン戦略課 TEL 011-204-5334



北海道ってすごいね!

ゼロカーボン 北海道CAFÉ開催!

ゼロカーボンの未来をかたりあう。

道内5地域で、ゼロカーボン北海道を「見る・知る・学ぶ」の体験ができるイベントを開催します。ゼロカーボンに取り組む企業や団体と連携したさまざまな体験コンテンツやステージイベント、プレゼントなど楽しい企画が盛りだくさん。ぜひご来場ください。

函館会場	2/18(土)・19(日) 函館萬屋書店 2階イベントスペース
帯広会場	2/25(土)・26(日) 長崎屋帯広店 2階センタープラザ
北見会場	3/11(土)・12(日) コミュニティプラザParabo 5階催事場
釧路会場	3/11(土)・12(日) イオンモール釧路昭和 1階サンコート広場
旭川会場	3/18(土)・19(日) イオンモール旭川駅前 1階スペース

ゼロカーボン北海道を考えるきっかけとなる動画や、ゼロカーボン北海道CAFÉの詳細などはこちらから

脱炭素先行地域 2022年11月1日現在

北海道の実現を目指しています。さらに北海道には、国が選ぶ脱炭素先行地域が全国最多の5カ所もあります(2022年11月1日現在)【3ページ参照:鹿追町の取り組み】。

今後は、こうした再生可能エネルギー生産能力と冷涼な気候を生かし、北海道にさまざまな企業のデータセンターを誘致したり、光海底ケーブルを整備して通信環境を強化する取り組みを進めていきます。

広告

広告